

第76回ウォーキングのご報告

5月14日(日) 前日の予報では降水確率90パーセント、当日の朝も今にも振り出しそうな空模様で、多くの方が出足をくじかれました。参加者はわずか4人でしたが、少雨決行で、「知立八幡かきつばたと鎌倉街道史跡めぐり」は実施されました。



落田中の一松(かきつ姫公園内)にて



在原業平朝臣墳墓伝承地にて

名鉄三河八橋駅を元気に出発し、在原業平が「かきつばた」の五文字を句頭に入れて「唐衣の歌」を詠んだところとされる「落田中の一松」、業平の供養塔がある「業平塚」、「在原寺」、鎌倉街道沿いにある「根上がりの松」、などを見て回り、昔の知立に思いをはせました。



根上り松の松(根が2mほど持ち上がっている)



ガイドさんと共に無量寿寺の業平像をバックに記念撮影

昼近くに「かきつばた」で有名な無量寿寺を尋ねました。休憩所でゆったりと昼食をとり、そのあと大宮先生の教え子で知立市観光ガイドボランティアの方の案内で境内を見学しました。



無量寿寺境内のかきつばた池を散策



ガイドさんの説明に耳を傾ける

境内のかきつばた池には残念ながらちらほらとしか「かきつばた」は咲いていませんでしたが、ガイドさんから「八橋」の由来、京菓子八橋とのつながり、江戸時代後期に無量寿寺の復興に尽力した方巖和尚、杜若姫供養塔の話など知らないことをたくさん教えてもらいました。

心配していた雨にもほとんど降られることもなく、ゆったりとした時間の流れの中で、在原業平や無量寿寺などについて詳しく知ることができ、歴史と文化探訪のウォーキングを楽しむことができました。